※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　新歴史総合　過去との対話、つなぐ未来　（第一学習社）						
副教材等	担当者作成プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、世界と、世界の中での日本がどのようにつながってきたかを、同時代に生きた人々の立場に立って主体的に考え、理解する活動を行います。さらに、そこから現代の課題にどうつながっているのか、よりよい未来のためにはどうしていくと良いのかを考えていきます。
・授業は教科書とプリントで行いますが、板書を書き写すだけでなく、先生の話をメモしたり、自らの考えを表現したりする課題が出ます。
・資料を集めて分析し、発表する調べ学習も行います。積極的に活動しましょう。
・授業中のプリントやレポートなどの提出物をしっかり出しましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・近現代の歴史について、基本的な事柄を世界とその中の日本を関連づけながら理解する。
・さまざまな資料から歴史に関する情報を調べ、まとめる。
【思考，判断，表現】
・歴史的な事象の意義や特色を考察する。
・調べたり考えたりしたことをレポートや発表によって表現する。
【学びに向かう力，人間性等】
・歴史的なことに根差す諸問題に関心を持ち、主体的に知ろうとする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史に関する基本的な事柄について、世界と日本を関連づけながら理解している。また、さまざまな資料から、歴史に関するさまざまな情報を調べ、まとめる技能を身につけている。	近現代の歴史的な事象の意義や特色を考察し、歴史に見られる諸課題を、国際社会の変化をふまえて公正に判断し、構想している。それらの結果をレポート・発表などにより適切に表現する力を身につけている。	近現代の世界と日本の歴史的な出来事に対しての問題意識を高め、主体的に追求している。国際社会に生きる者として、日本の歴史に対する関心を持ち、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第一部　歴史の扉	1　歴史と私たち 2　歴史の特質と資料	a:私たちの身近な生活に見える事柄が、日本や世界の歴史とつながっていることを理解する。 b:資料を見て、そこから読み取った情報の意味や特色などを考察し、表現する。 c:諸資料を用いて課題を追及する活動に主体的に取り組む。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 振り返りシート
	第二部　近現代の世界と日本 第1章　近代化と私たち	第1節　18 世紀のアジアの繁栄	a:18 世紀における、清を中心とする東アジアの国際秩序や、アジアや日本の経済について理解する。 b:諸資料を通して、18 世紀のアジアや世界の中の日本について、多面的・多角的に考察し、表現する。 c:18 世紀の東アジアや日本の社会や経済について関心を持ち、考察を深める。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 ワークシート 振り返りシート
		第2節　工業化の進展と国民国家の建設	a:産業革命と、交通・通信手段の革新や、欧米の市民革命などを経た国民国家の形成について理解する。 b:欧米における近代化の、国ごとの共通点や相違点について、多面的・多角的に考察し、表現する。 c:諸資料を活用して、産業革命の影響や問題点について追究する活動に主体的に取り組む。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第3節　結び付く世界と日本の開国	a:欧米諸国の影響を受けたアジアの変容と、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などによる立憲体制の形成を理解する。 b:中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 c:産業革命後の欧米のアジア進出や、日本を含めたアジア諸国の社会の変容に関心を持ち、主体的に考察を深める。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 ワークシート 振り返りシート
		第4節　帝国主義とアジア諸国の変容	a:列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 b:帝国主義政策の背景や、アジア・アフリカに与えた影響などに着目して、それぞれの国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりして多面的・多角的に考察し、表現する。 c:欧米列強や日本の植民地政策に対して関心と問題意識を持ち、主体的に追究する。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 ワークシート 振り返りシート
2学期	第2章　国際秩序の変化や大衆化と私たち	第1節　第一次世界大戦と大衆社会	a:第一次世界大戦の展開や、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭などを基に、第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 b:第一次世界大戦前後の社会の変化に着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連づけたりしながら、社会運動について多面的・多角的に考察し、表現する。 c:第一次世界大戦の性格と惨禍、その後の国際協調体制の特徴などに関心を持ち、主体的に考察を深める。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第2節　経済危機と第二次世界大戦	a:世界恐慌の世界への影響、ファシズムや軍部の勢力拡大などにより、国際協調体制が動揺し、第二次世界大戦へと発展したことを理解する。 b:世界的な経済危機を背景とし、各国の政治体制が変化したことなどに着目して、国際協調体制が動揺した要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 c: ：第二次世界大戦の性格と惨禍、大戦下の社会状況などに関心を持ち、主体的に考察を深める。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 ワークシート 振り返りシート
		第3節　第二次世界大戦後の世界と日本	a:第二次世界大戦後の、国際連合やアメリカを中心とする国際経済体制の成立、冷戦の始まりと日本の国際社会への復帰との関連いついて理解する。 b: 第二次世界大戦後の日本に対する占領政策と国際情勢との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 c:第二次世界大戦後の国際秩序や冷戦体制について関心を持ち、主体的に考察を深める。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 ワークシート 振り返りシート
3学期	第3章　グローバル化と私たち	第1節　冷戦と植民地化・第三世界の台頭	a:西ヨーロッパや東南アジアの地域連携や経済、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 b:地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の特徴、欧米やソ連の政策転換の要因などについて多面的・多角的に考察し、表現する。 c:アジア・アフリカ諸国の脱植民地化や冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向などに関心を持ち、主体的に考察を深める。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第2節　世界秩序の変容と日本	a:冷戦の終結や冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 b:冷戦の変容と終結の背景や地域紛争の拡散の背景などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴や日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 c:石油危機やアジアの諸地域の経済発展などに関心を持ち、主体的に考察を深める。	定期考査	定期考査 提出物	 提出物 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度